

(別紙4(2))

事業所名 プルミエールさなげ

目標達成計画

作成日: 平成 28年 4月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	平成27年度外部評価における評価機関のアンケートから、生活の中での生き生きとした表情の項目、外出の頻度の項目が、他の項目に比較するとやや満足度が低いという情報を得た。そこで、平成28年度は、これまで行って来た個別の外出支援に加え、グループホーム全体での外出がより充実したものとなるよう再検討していく。また、外出が困難な時期には、室内での色々なイベントを企画していく。そして、この取り組みを通して、利用者に生き生きとした表情が生まれ、喜びの多い生活が送られるよう努力していく。	利用者の楽しみや生きがいに通じるような外出を再検討し、個別の外出支援を継続すると共に、グループホーム全体での外出の充実と機会を増やす。また、外出が困難な時期の室内でのイベント等も充実を図り、喜びの多い生活が送れるよう支援する。	①個々の今までの外出支援について振り返り、希望する外出先について、再度利用者、家族と相談し、実現可能な外出目標を決定する。 ②全体の外出先等について、これまでの内容を参考に利用者で相談し、再検討する。 ③外出が困難な時期の室内イベントの具体的な内容(四季の行事や菓子作り等)を検討する。また、外出が困難(または好まない)な利用者については、他の支援方法を検討する。 ④季節の花や日帰り温泉など地域の外出できる場所の情報収集を行う(期間途中も追加していく)。 ⑤実現に向けての個別援助計画を立案する。 ⑥外出・イベントの年間計画を立案する。 ⑦毎回の企画書のなかで外出先での支援のポイントを明確にし、計画性のある外出支援を行うよう徹底する。	1か月
				⑨週1回のケアカンファレンスで実施状況について話し合い、個々の外出状況を把握し、検討する。 ⑩外出やイベントの様子を、家族の面会時に、ボードに貼った写真を活用して伝えていく。 ⑪運営推進会議で外出の様子、個々の目標達成計画への取り組み内容を報告し、助言等を得る。また、新たな外出先等の情報を得る。 ⑫1ヶ月毎に個別援助計画の評価を行い、必要に応じて計画を変更する。	6ヶ月
				⑬一年間の取り組みを評価し、利用者・家族の希望を踏まえ、新たな目標を検討していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。